

病む人の立場に立って

安全でより質の高い医療を提供します



【リタケの森/6本煙突（陶磁器焼成用トンネル窯煙突の跡）名古屋市 認定地域建造物資産 認定】

基本方針

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 病める人の尊厳と権利を守る医療の推進 | 4 拠点病院としての役割の強化 |
| 2 地域医療機関との連携と役割分担 | 5 研修・教育・研究の推進 |
| 3 高度医療の実践と救急医療の充実 | 6 安定した医療を提供する基盤の確立 |

患者さんの権利

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ○個人の人格を尊重した診療を受ける権利 | ○納得のいく説明を受ける権利 |
| ○信頼に基づく医療を受ける権利 | ○診療録の開示を求める権利 |
| ○個人情報保護の権利 | ○検査・治療法などの選択あるいは拒否をする権利 |
| ○診療情報提供を受ける権利 | |

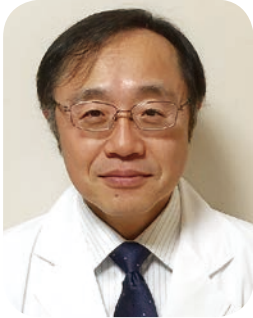
お願い

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ○病気に関する正確な情報を医療者（医師・看護師等）にお伝え下さい。 | ○災害時あらゆる危険から回避するため、職員との連携にご協力をお願いいたします。 |
|-----------------------------------|---|

もくじ

巻頭言	2	医療最前線	6
ドクターよもやま話	3	連携医療機関紹介	7
職場紹介	4	外来診療担当表	8
トピックス	5		

巻頭 一言



名古屋医療センター
副院長
竹田 伸

One Teamと 地域医療構想



昨年、私がよく耳にした印象に残る2つの言葉について述べたいと思います。

1つ目は、「One Team」です。ラグビーワールドカップ2019日本大会にて日本の大活躍を目のあたりにして、チーム一丸となって戦う美しさを皆さんは感動とともに直接肌で実感されたと思います。メンバー全員が、それぞれのMaxの力を発揮し互いに信頼しながら目標に向かっていくことで、1+1が2以上になっていく相乗効果が生まれた時に、初めて勝利につながるという中で準々決勝まで進出した日本チームの栄光に感謝とともに勉強させられた思いです。当院は1000人以上の医療スタッフで構成されています。ヒューマンエラーを起こさないシステムの構築と、各人がMaxの力を発揮でき互いに共存できる環境を構築したいと考えています。

2つ目は2019/9/26、厚生労働省より「地域医療構想」の実現に向けてです。突然の発表で医療関係者だけでなく一般社会でも激震が走りました。名前の挙がった病院は、つぶれてしまう病院という風評が

先行してしまいました。高度急性期病院もしくは急性期の病床をもつ公立・公的医療機関1455病院中、公立257病院、公的医療機関(公的・大学病院・地域医療支援病院など)167病院の計424病院が再編統合や回復期・慢性期病床などを考慮するように提案したのです。この目的は、2025年に向けて地域ごとに限られた医療資源を効率的かつ不足のない医療体制を構築することです。5年後の2025年には団塊の世代が75歳を迎えて後期高齢者となり(18%)、3人に1人が65歳以上という時代を迎えます。2030年には後期高齢者が減少し人口全体も減少が予想されています。これが2025年問題です。急性期病床には7:1看護のように多くの看護師を配置しないと医療の質が担保できないのにスタッフの絶対数不足や、将来を見越すと急性期病床が多すぎて回復期や慢性期病床が少ないというのが日本の現状です。特に、地方の病院は住民が安心して住み続けるために地域密着型病院で維持しなければなりません。医師や看護師不足が深刻化しています。そこで、病院の再編や統合によって集約することで医療の質を担保できること、また過剰ベッド数を削減していきたい(124万床から119万床に)としています。全国には4549病院もあるため、今後は民間病院も検討することになっています。

2つの言葉を元に、名古屋医療センターならでの特徴を見出し全職員が「One Team」となり、よりよい医療を提供できるよう機能分化していく必要があると考えております。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



ドクター

よもやま話

エイズって
やせる病気？
ふとる病気？エイズ総合診療部長
横幕 能行

全然「死の病」なんかじゃない

昔は「死の病」だったヒト免疫不全ウイルス (Human Immunodeficiency Virus; HIV) による HIV 感染症/エイズ (以下エイズ)。さて、今、エイズはどんな病気なのでしょう？

世界の HIV と共に生きる人々 (People living with HIV; PWH) の悩み

治療の進歩により、PWH は早期発見し医療者と治療に取り組み、HIV に感染していない人と同等に生きることができます。現在、当院には約 1,500 人の PWH が 3 ヶ月に 1 度の頻度で“元気に”通院しながら日常生活を送っています。

さて、PWH の最近の“悩み”は「体重」です。最近、当院の外来でも、「ごはんが美味しくて仕方がなくて“太る”」、「食欲がおさまらなくて“太る”」、「どんなに食事や運動に気をつけても“太る”」という相談が増えています。実は、これは“現代の世界の PWH 共通の悩み”です。一緒にこの原因を考えてみましょう。

① 薬がよくなったから？

かつての治療薬には吐き気、頻回の下痢、脂肪が少なくなるなどのひどい副作用がありました。しかし、最新のお薬にはほとんどありません。治療薬の

体への負担が少なくなったからかもしれません。

② 元気になったから？

副作用が少なく、1日1回1錠を食事に関係なく内服するだけの治療薬のおかげで PWH の社会参画が容易になりました。とってまぐルメな PWH も少なくありません。

③ 薬の副作用？

体重の増加が問題視されだしたのは最近です。実は、そもそも近年広く使われるようになった特定の種類のお薬の副作用ではないかとも考えられています。

④ 中年太り？

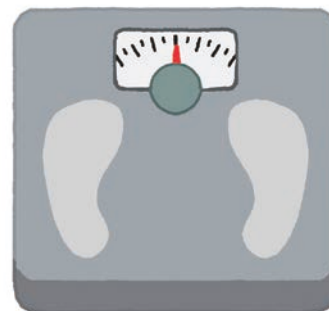
最近 PWH の平均年齢はどんどん上昇し、多くの PWH が 40 代、50 代になっています。HIV に感染していない人と同様、単に加齢に伴う中年太りの過程を見ているだけかもしれません。

⑤ 不摂生？

高齢化が進みつつあるとはいえ PWH のほとんどはまだまだバリバリ働く世代です。働き方改革も進められていますが、HIV に感染していない人と同様に深夜就寝直前の夕食など不摂生になりがちです。

めざせ健康長寿院内 No.1!

最近、認知症にならず、免疫を維持して長生きするためには“筋肉も贅肉もたっぷり”な“ガッチリムッチリ(ガチムチ)”がよいという報告もあります。我が国の多くの PWH の中で、実は“ガチムチ”はモテ体型の一つ。3 ヶ月に 1 度の頻度で私たち医療者から健康チェックを受けている PWH は、近い将来、当院で一番健康で長寿になれるかもしれません。





放射線診断科・放射線治療科

診療放射線技師長 横山 恵太

放射線科と聞くと「放射線なんて怖い」とか「何か特殊な検査や治療を行うところ？」などと思われる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません！実は放射線科は殆ど全ての診療科の医師から依

頼を受けて、X線撮影やCT、MRI、アイソトープ検査、血管撮影室でのカテーテル検査や治療、がんに対する放射線治療などを行っており、現在の医療において無くてはならない存在なのです！

放射線科では一日に500人以上の検査・治療を行い、多くの患者さんと接する機会があります。そのため、私たち放射線科スタッフは「病院の顔」としての意識と自覚を持ち日々の診療に臨むとともに、日頃から患者さんにご満足いただけるよう『思いやりと笑顔をもっとに、安心・安全で質の高い医療の提供』を心掛けています。放射線科に関しましてお気づきの点や検査・治療に関するご質問等ございましたら、お気軽にお近くのスタッフまでお声掛けください。

～ラジエーションハウスへようこそ～



西7病棟

西7病棟看護師長 池田 朋子

西7病棟は消化器外科、消化器内科の混合病棟です。消化器とは食べたものを、消化・吸収・排泄・代謝・貯留する器官のことで、私たちが生きていくためには重要な働きをしています。臓器の種類も多く病気や治療も多岐にわたります。内視鏡の検査・治療、手術、化学療法、放射線療法、終末期など、さまざまな治療を受けに患者様が入院されています。私たち看護師は、安心・安全に入院生活を過ごして頂けるよう、環境を整え、患者様やご家族様の想いに寄り添った看護の提供を目指しております。

患者様の中には人工肛門造設や自宅での経管栄養など、生活や外見的变化で退院後に不安を抱える患

者様もおられます。認定看護師、薬剤師、栄養士など多職種と協力しながら多くの視点で患者様と関わり、退院後の生活を見据えた一番のBESTを看護で実践できるように努めております。





名古屋看護助産学校の閉校にあたり

副学校長 寺西 正美

私は平成28～29年度の2年間名古屋医療センター看護部長、平成30～31年度の2年間は副学校長として看護基礎教育に携わり、令和2年3月末日閉校と同時に定年退職します。名古屋医療センター及び附属看護助産学校の4年間在任中は、多くの方々にお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。そして、この歴史と伝統ある名古屋看護助産学校の閉校に携わらせていただいたことを大変光栄に存じます。

当校は、戦後間もなくの昭和22年9月に看護婦養成所が開設され、特期生8名の入学より始まりました。昭和50年国立名古屋病院附属看護学校として名称を変更し、昭和57年4月に助産婦科が開設され、国立名古屋病院附属看護助産学校となりました。平成16年国立療養所東名古屋病院附属看護学校との統合を経て、同年、国立病院の独立行政法人化により、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校となり現在に至っています。この間、「生命の尊厳と人間の尊重を基盤

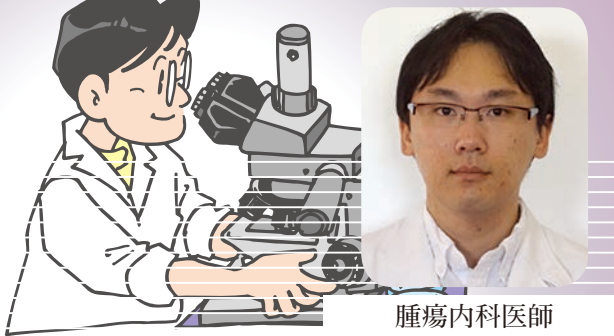
として、社会に貢献できる質の高い看護の専門職業人を育成する。」という教育理念を掲げ、有能な人材を国立病院・国立病院機構、並びに広く社会に輩出してきました。看護学科及び助産学科併せて4000名以上が卒業し、全国各地、各施設で活躍しています。これもひとえに講義や実習指導、学校運営等にご尽力いただきました講師や指導者の皆様方、病院職員の皆様方のお蔭と感謝申し上げます。

この度、閉校にあたり様々な資料や写真を紐解き、閉校記念誌を作成しました。その際に同窓生の母校に対する熱い思いに触れ、長い歴史の上に築きあげてきた伝統の重みをひしひしと感じました。これまで築きあげてきた諸先輩方の看護が、閉校により途切れるかと思うと寂しい限りです。しかし、卒業生は脈々と受け継いできた看護に対する思いや信念を絶やすことなく、ひとり一人の胸に抱き続けていてくださると信じています。これからも、名古屋看護助産学校の卒業生を温かく見守ってください。ありがとうございました。



医療最前線

消化器がん 薬物療法の最新情報



腫瘍内科医師
杉山 圭司

今月の「医療最前線」は腫瘍内科が担当します。腫瘍内科はがんの患者さんにとってベストな薬物療法を提供するべく日々取り組んでおります。今回は進行・再発消化器がん(食道・胃・大腸)の薬物療法にフォーカスし、今後の治療を変えうる重要な薬剤を開発中のものを含めて紹介いたします。

1. 食道がん

FOLFOX療法(ロイコポリン、5-FU、オキサリプラチン)という併用療法が2019年より食道がんの使用可能となりました。従来のシスプラチン+5-FU療法と比べて副作用が軽く、通院治療が可能です。腫瘍内科では腎臓機能が弱い、75歳以上、通院治療を希望する方にFOLFOXを提案しています。FOLFOXは放射線治療との併用も可能です¹⁾。**ニボルマブ**

ルマブは免疫チェックポイント阻害薬と呼ばれる、免疫療法薬のひとつです。初回治療(はじめて受ける治療)が無効となった患者さんを対象にした研究でニボルマブは従来の抗がん剤と比べて優れていることが明らかとなりました²⁾。

2. 胃がん

ペムブロリズマブはニボルマブと同様に免疫チェックポイント阻害薬のひとつです。初回治療としてペムブロリズマブの有効性が抗がん剤治療に劣らないことが報告されています³⁾。市販が待たれるとともに、従来の化学療法との使い分けやさらに有効な治療の開発が課題です。**トラスツマブ デルクスカン**はHER2陽性タイプの方に有効な新薬です。従来の化学療法が効かなくなった方を対象に効果があることが報告され期待されています⁴⁾。

3. 大腸がん

大腸がんは遺伝子異常の有無を詳しく調べて治療法を決める時代です。マイクロサテライト不安定性、BRAF 遺伝子変異という異常がある場合には、それぞれ**ニボルマブ・イピリムマブ**(免疫チェックポイント阻害薬の併用療法)、**エンコラフェニブ・ビニメチニブ・セツキシマブ**併用療法が有効です^{5),6)}。BRAF 遺伝子変異陽性の場合、初回治療として分子標的薬を使用する治験が行われています。

4. 最後に

本稿にも難しい内容が含まれておりますように、がん薬物療法は進歩とともに、複雑・高度化しています。最適な治療には十分な相談と計画作りが重要です。治療の予定がある方、心配ごとがあればお気軽に腫瘍内科にご相談ください(診療科ホームページもぜひ、御覧ください)。

表. 本文中で紹介した薬剤のまとめ

臓器	治療法・治療薬	対象となる方、がんのタイプ	国内での承認状況
食道	FOLFOX	初回治療*	済
	ニボルマブ	既治療**	申請中(2019.05)
胃	ペムブロリズマブ	初回治療、HER2陰性・PD-L1陽性***	申請中(2019.10)
	トラスツマブ デルクスカン	既治療、HER2陽性	2020年中に申請?
大腸	ニボルマブ・イピリムマブ	初回治療、MSI-H****	申請中(2019.11)
	エンコラフェニブ・ビニメチニブ・セツキシマブ	既治療、BRAF 遺伝子変異陽性*****	申請前

*初めて治療を受ける方、**すでにひとつ以上の薬物療法を受けてた方、***免疫組織化学法でPD-L1という物質がある方(CPS 1以上)が対象、****マイクロサテライト不安定性がある方が対象、*****BRAFV600Eという特定の異常がある場合に限る。

1) Lancet Oncol. 2014; 15:305-14. 2) Lancet Oncol. 2019; 20:1506-1517. 3) J Clin Oncol. 2019; 37: suppl. LBA4007. 4) Lancet Oncol. 2019; 20:827-836. 5) J Clin Oncol. 2018; 36:773-779. 6) N Engl J Med 2019; 381:1632-1643



院長 横井 香平

中日病院

中日病院は、中日新聞社健康保健組合が運営する病院として1956年に開設され、2006年に本町通りの現在の場所に移転しました。

当院の特徴としては、診療と健診という2つの機能を有していることです。健診の開始は1962年と愛知県内では最も歴史のある施設です。健診では疾病の早期予防と重症化の防止を主眼に、健診から診療へのスムーズな移行を心がけています。

診療の特徴の一つとしては、名古屋手外科センターを設置し、主に上肢(腕、肘、手首、手や指など)の病気や外傷の診療を専門に行っていることです。この領域の専門医が診療や手術を担当し、さらに上肢専門のセラピストがリハビリテーションをサポートしています。また、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、呼吸器内科、外科、乳腺科、婦人科、眼科、歯科口腔外科など、多岐に渡った一般診療も行っています。健診で指摘された疾患に対して迅速に精査を行うとともに、都心にあるかかりつけ医、ホームドクターとしてお気軽にご利用いただけます。

入院施設は93床(一般病棟42床、療養病棟51床)で、近隣5キロ圏内に高度急性期の病院が7施設あることから、当院は主に後方支援としての役割を



病院全景

担っています。当地域では、何らかの医療処置が必要なため一般的な回復期病棟や施設の対象にはならず、在宅にも帰れない患者さんの受け入れ先は限られています。当院の一般病棟では上記のような患者さんへの対応も可能で、さらには癌ターミナル期の疼痛コントロールや褥瘡ケアも行っています。

療養病棟では、週に1回歯科口腔外科医による口腔ケア回診を行っており、誤嚥性肺炎の発生や予防に努めています。また、「看取りの医療」を実践しており、患者さんやご家族のお気持ちに寄り添ったケアを多職種で考えながら行っています。

当院は、地域の方々に安心して受診していただける信頼される病院作りを目指しておりますので、皆様からのご意見・ご要望をお聞かせ願えれば幸いです。



CT検査



胃内視鏡検査

当科のスプリント作製について



中日病院

所在地：〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目12番3号

電話：052-961-2491 (代表)

：052-211-7844 (外来予約センター)

診療科：循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、呼吸器内科、腎臓内科、外科、乳腺科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科

センター：健診センター、名古屋手外科センター、内視鏡センター

診療時間：平日/午前9:00~11:30、午後1:00~4:00

第1.3.5土曜日/午前9:00~11:30

URL：http://www.chunichi-hp.com

外来診療担当表

Table with columns for Department (診療科), Day (月, 火, 水, 木, 金), and Doctor. Includes sub-sections for Internal Medicine (内科) and Outpatient Clinics (受付A-E).

Table for Plastic Surgery (整形外科) and Dermatology (皮膚科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Dermatology (皮膚科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Pediatrics (小児科) with columns for Department, Day, and Doctor, including morning and afternoon shifts.

Table for Genetics (遺伝) and Genetic Counseling (遺伝相談) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Otorhinolaryngology (耳鼻いんこう科) and Head/Neck Surgery (頭頸部外科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Ophthalmology (眼科) with columns for Department, Day, and Doctor, including surgery days.

Table for Obstetrics and Gynecology (産婦人科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Nephrology (泌尿器科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Hematology (血液内科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Specialized Outpatient Clinics (専門外来) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Oral and Maxillofacial Surgery (歯科口腔外科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Radiation Therapy (放射線科) with columns for Department, Day, and Doctor, including diagnostic and treatment sessions.

Table for Proctology (痔瘻外科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Endoscopy (内視鏡室) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Psychiatry (精神科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for Neurology (脳神経外科) with columns for Department, Day, and Doctor.

Table for General Surgery (外科) with columns for Department, Day, and Doctor.

※ stomatology... ※ cardiac surgery... ※ genetic counseling... ※ radiation therapy... ※ outpatient hours... ※ on-duty days... ※ contact information...